

歴史文化施設整備事業の概要

1 整備の目的

盛岡の歴史の中心地であるとともに、市民が集う憩いと交流の場である盛岡城跡公園の中に、市民や観光客、修学旅行生徒など様々な人々が、歴史や伝統文化に触れながら、まちなか観光の拠点として、新たな賑わいを創出する施設を整備することを目的とする。

- ・ 公園(盛岡城跡)隣接地で、南部家資料をはじめとする歴史資料等の展示や、盛岡の暮らし文化・年中行事等を紹介し、盛岡の歴史や伝統文化を身近に見学・学習・交流できる拠点施設。
- ・ 「町あるき」の拠点であるとともに、歴史・文化資源を活用した情報発信等による「町なか観光」の拠点機能を有する。
- ・ 中心市街地の活性化に寄与する。

2 4つのテーマ

(1) 継承

未来の市民のために、時を越えて歴史を継承する。

(2) 貢献

観光集客や中心市街地活性化に貢献する。

(3) 創造

歴史や伝統文化を伝え、将来を担う次世代を育成するとともに、新しい盛岡の暮らし文化を創造する。

(4) 協働

地域文化振興や生涯学習、市民協働の拠点として、市民とともに成長する。

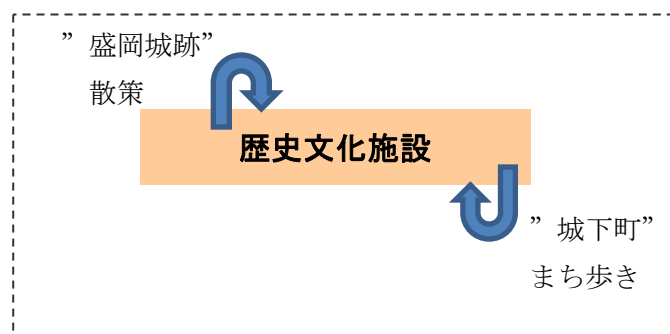
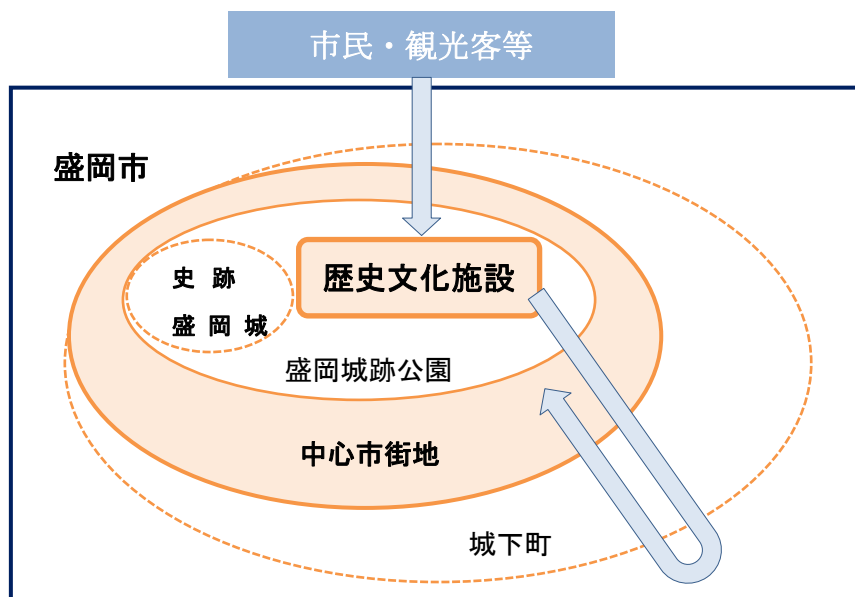
3 中心市街地活性化における位置づけ

- (1) 旧県立図書館を有効活用し、盛岡城跡公園、御蔵、中津川、界隈の美術館・博物館施設などを含め、周辺地域のエリアとしての魅力を向上させるために、当該施設を拠点とした、歩いて楽しめるまちなか観光の推進をめざす。
- (2) 盛岡ならではのものとして、歴史的なものや、祭事、日常生活関連のものを展示・体験できるようにしているとともに、食事や観光などまちなかへ回遊していただくための情報提供を行う。

(3) 観光客のみならず、生涯学習や市民協働の拠点として機能し、様々な人との交流を実現できるような機能をもたせる。

4 歴史文化施設と周辺地区の関連性イメージ

歴史文化施設と周辺地区の関連性のイメージは次に示すとおりである。



5 整備の方針

(1) 基本コンセプト

① 本施設は、盛岡の歴史を刻んできた盛岡城跡に隣接するとともに、日本の都市公園 100 選に選ばれ、四季折々に市民が集う憩いと交流の場である盛岡城跡公園の中にあり、周辺には中津川が流れ、城下町としての風情が残る地区に立地するものである。

- ② このような歴史、自然などの周辺環境を活かしながら、新たな生活文化及び都市観光の拠点施設として整備を行うものであり、その基本コンセプトを次のとおりとするものである。

「もりおか・城と城下町フィールドミュージアム」

ー都市・盛岡のルーツを探り、21世紀のまちづくりへつなげる拠点施設ー

(2) 整備方針

- ① 歴史的・文化的背景を活かした出会いと学びの場とするとともに、地産地消による盛岡の物産の飲食物販サービスや市民協働の交流活動の充実を図り、訪れる人々が豊かな時間を過ごせるような、魅力ある都市型施設として整備する。
- ② 城下盛岡発祥の地である盛岡城跡を「最大の展示物」と捉え、本施設と盛岡城跡を一体化した事業展開を行うとともに、周辺地区における各種施設との連携を図り、これらの相乗的な効果発揮により、新たな観光拠点として整備する。
- ③ 随所に歴史情緒が残る中心市街地を「城下町フィールドミュージアム」と捉え、様々な情報を双方向に発信することにより、本施設を起点とする人の流れを創りだし、中心市街地の活性化を図る施設として整備する。

6 整備の内容

(1) 文化観光交流ゾーン

- ① 1階は、盛岡の「おもてなしの心」や「祭り」の展示により、盛岡ならではの魅力に出会う場所とするとともに、周辺地区の様々な情報提供による施設外部との連携拠点として整備する。
- ② 観光客や市民を迎え、人々の交流を図り、まち歩きを楽しむための4つのコーナーで構成する。
- i 山車展示ホール
本施設の導入部として盛岡秋祭りの山車を展示し、賑わいを演出するとともに、祭りを通じた盛岡の魅力の発信を図る。
- ii 祭り常設展示コーナー
盛岡を代表する祭りと風物詩であるさんさ踊りとチャクチャグ馬コを展示し、賑わいの演出と盛岡の魅力発信を図る。

iii 祭り企画展示コーナー

旅の思い出やお土産、来場記念として、盛岡特産商品の展示・販売や伝統産業の実演など、時節にあわせて可変的に使うことを想定しており、賑わいの中のおもてなし空間とする。また、お祭りやイベントなど、年中行事の情報も紹介する。

iv フィールドミュージアムセンター

まち歩きや城跡散策の拠点として、まち歩きマップ等を用いた情報提供機能を充実するとともに、盛岡情報案内人が常駐し、盛岡の新鮮な生活・観光情報を提供し、来場者がまちに出て楽しめるようなサービスを行う。

(2) 歴史文化展示ゾーン

① 2階は、城下町出現の背景、城と城下町、盛岡の近代化と南部家資料を展示し、盛岡の歩みを紐解くとともに、歴史の面白さと奥深さを実感する場として整備する。

② 城下町のルーツを探り、盛岡の歴史や文化に触れる6つのコーナーで構成する。

i 城下町成立以前

藩政以前の豊かな自然風土と歴史のダイジェストを示すとともに、城下町へ入る道として、舟橋を示し、来場者を城下町・盛岡へと誘う。

ii 城下町・盛岡

城下町の成り立ち、街道の結節点及び北上川舟運の起点として発展した盛岡の繁栄と豊かな町人文化やいきいきとした生活を示す。

iii 盛岡城と南部家

盛岡城内の再現模型を示し、東北三大名城とうたわれた盛岡城の成り立ちを解説するとともに、歴代藩主を紹介し、盛岡城と南部家の歴史の全体像を概観する。

iv 南部家資料展示室

歴史資料及び文化財として重要な南部家資料について、美術的側面も含めて紹介し、南部家の美意識に会う豊かな時間と空間を提供する。

v テーマ展示室

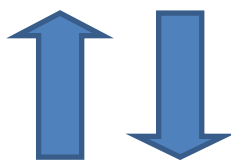
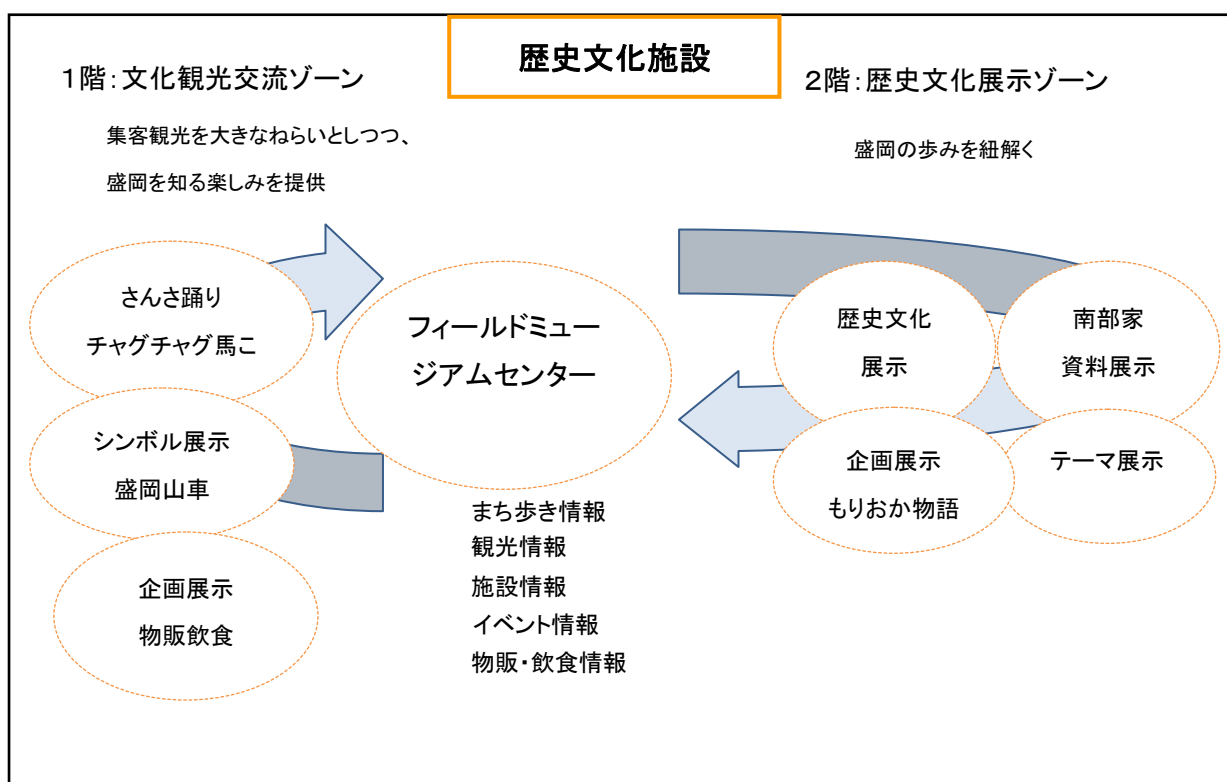
盛岡藩に関連する様々なテーマ設定による展示を行う。

vi もりおか物語展示室

藩政時代の町家を再現し、藩政の終焉と明治維新、岩手県の成立などの歩みを現代の盛岡につなげながら、本施設における展示を終わるとともに、まちなかに出て行くきっかけとする。

(4) 整備内容のイメージ

整備内容のイメージは次に示すとおりである。



◎周辺地区・施設との連携・協力

盛岡城跡公園、中津川、各種施設、街並み、歴史的建造物、イベント実施、双方向情報発信など

◎周辺地区整備事業

お城を中心としたまちづくり事業など